



立川市議会議員

原 ゆき

はら

子育てまっさい中!

通信

2024年度秋冬合併号



立川市のみなさんこんにちは！ 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年夏に任期4年間の折り返しとなり委員会の改選が行われ、私は念願の文教委員会、議会改革特別委員会の所属となりました。文教委員会では小学校教員としての9年間の経験を生かし、地元立川で育つ子どもたちの学ぶ環境や先生方の働く環境がさらに良くなるよう提言していけたらと思います。

議会改革特別委員会では、新人議員ならではの発想で、市民にとって分かりやすい、開かれた議会を目指していきます。引き続き皆様のご意見をお寄せください。

文教委員会まとめてご報告

Q.

訪問型ICT支援員配置で学びの環境充実を。

令和8年度を目途に配置を検討中。



Q.

二小の新校舎配置図にあるマンホールトイレ。一般にはプールの水を使うことになっているが、二小は水泳指導を民間委託している。災害時のマンホールトイレの水源確保はどうするのか。

体育館の地下部分に水槽等を設けて水を供給する想定をしている。



Q.

通常の学級において、障がいや発達特性のある子どもたちも共に学びやすい環境を整えるために、立川市ではどのような取り組みを行っているのか。

学校運営や学級運営、学級経営等の支援を行う学校サポート指導員、いわゆる特命担当を任用しており、この指導員は、教員経験も長く経験も豊富で、また特別支援教育に非常に造詣の深い方に担っていただいております。学校からも多くの派遣要請がある。

小・中学校への自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について



令和8年・2026年度4月の開設に向け、六小と四中に新たに自閉症・情緒障害特別支援学級を整備する報告がありました。今回、開設準備検討委員会メンバーに保護者は含まれないようですが、教育委員会に届く保護者の皆様からのご意見を検討委員会の中で反映させていくとのことでした。

学校給食代替弁当補助金について



アレルギーや病気、宗教上の理由などで食べられない食材があるために、自宅から弁当を持参しているご家庭に対する食材費等の助成について、9月の決算特別委員会で求めていたところ、12月議会の文教委員会で、この4月にさかのぼり、補助金を交付することが報告されました！

実現しました!



夏の若葉町まつりでは
場内アナウンスを
担当させていただきました!

富士市のまちなか総合ケアセンター、
魚津市のゼロカーボン專業を
視察しました。
立川市でも導入可能性を研究して
提案していきたいです。



皆さまからいただいた
ご意見など直接市長へ
要望しています。

もっと!

一般質問を行いました!



Thema 02 >>> 解説pickup!

Thema 01

出産・子育て しやすいまち立川へ

PART 5

妊婦、授乳中の母子、子ども連れでも 安心して生活できる避難所としての備えを

子育て経験を持つ女性の防災リーダーが各避難所で力を十分に発揮できる環境を整えること。そして、哺乳瓶の消毒には避難生活で貴重な水を多く消費することから、備蓄が不十分な「使い捨て哺乳瓶」のさらなる拡充を求めました。

子どもたちの居場所(遊び場、学習スペース)を増やそう

AYA世代とは、Adolescent and Young Adult(思春期・若年成人)の頭文字をとったもので、主に15歳~30歳代までの世代をさしています。学業、進学、就職、恋愛、結婚、子育てなどライフステージが大きく転換するこの時期にがんに罹ることは、闘病だけでなく療養生活でも様々なことを同時に考えていく必要があります。

東京都で今年度から行っている介護保険制度の対象外である**若年がん患者の在宅療養支援**を立川でも!また、**生殖機能(妊よう性)温存治療助成事業(東京都の補助制度)**についても周知を、と求めました。

市ホームページ該当ページに直接リンクを載せてもらえました!



Thema 02

小児・AYA世代がん患者への支援を

在宅支援の充実

東京都AYA世代がん患者等に対する支援の充実



Thema 01 >>> 解説pickup!

Thema 01

性の多様性が尊重される 地域社会の実現を

性的マイノリティーの方や夫婦別姓を 希望する方、どんな選択も後押しする ことができるまちを目指して

性的マイノリティーのカップルもパートナーとして認めるパートナーシップ宣誓制度。東京都で2022年から運用が始まったあとも、独自に制度や条例を定める自治体は少なくありません。立川市は過去に陳情も採択されましたが、未制定。市独自のパートナーシップ制度や、異性同士でも望めば別姓パートナーとして子どもも一緒に家族と認めるファミリーシップ制度について質問。**「性的マイノリティー当事者の人権尊重の一つとして、当事者の声をしっかり聞きながら、ファミリーシップへの取り組みも含め準備を進めていきたい」と前向きな答弁がありました!!**今後の進展にもぜひご注目を。

Thema 02

誰もがこのまちで自分らしく暮らし続けるために

医療的ケアが必要な子ども、若者への支援のさらなる充実を

医療的ケアが必要な子どもたちが成長し学校を卒業する18歳以降の居場所の必要性について、保護者の方からお聞きした声をダイレクトに訴えました!**重症心身障害者の方や医療的ケアを必要とする方を支援対象とする生活介護事業所について、事業所から開設の相談があったため、現在検討している状況です。**



Thema 03

災害時に備えて

ケアが必要な市民の災害時の対応について

災害時のトイレ

災害発生時に自治体間で相互支援を行い避難生活に役立てるため、トイレトレーラーの導入を前回に続き提案。この間、参加団体へのヒアリングや費用面、運用面での課題等の情報収集を行うなど、かなり前向きに検討していることが分かりました。



一般質問を行いました!



発行責任者 原ゆき事務所
〒190-0001 立川市若葉町1-3-1-408
tel:070-9008-7455 Fax:050-3488-7544 mail:harayuki0802@gmail.com

プロフィール
1987年生まれ37歳。元小学校教員。長妻昭衆議院議員元秘書。
若葉小/立川九中/錦城高校/都留文科大学卒。夫、子2人(4歳、1歳)と共に若葉町在住。

ホームページ「お問い合わせ」フォームから
皆さまのご意見お寄せください!

SNSで日々の活動を発信しています!

<https://harayuki.com/>

